



# 長期休暇における情報セキュリティ対策

## 長期休暇中の対策

### ◆ 使用しない機器の電源OFF

長期休暇中に使用しない機器は電源をOFFにする。

### ◆ 機器やデータの持ち出しルールの確認と遵守

社外での対応が必要となるパソコン等の機器やデータを持ち出す場合には、ルールを事前に確認し、遵守する。また、ウイルス感染や紛失、盗難によって情報漏えい等の被害が発生しないように厳重に管理する。



## 長期休暇明けの対策

### ◆ 修正プログラムの適用、定義ファイルの更新

OSやソフトの修正プログラムが公開されている場合もあるので、確認して必要な措置を講じる。また、セキュリティソフトの定義ファイルが古い状態のままになっているので、最新の状態に更新する。

### ◆ 持ち出した機器等のウイルスチェック

持ち出していたパソコンやデータを保存していた媒体にウイルスが混入していないか、ウイルススキャンを行う。

### ◆ 不審なメールに注意

メールがたまっていることが想定されるので、添付ファイルを安易に開かないようにするなど、注意してメールチェックを行う。

※ IPA（情報処理推進機構）参考サイトはこちら→

